# ふくしま授産事業振興会だより

第30号
平成31年3月発行
（発 行 者）
福島県授産事業振興会
授産事業支援センター
http：//www.f-jusan.jp

〒960-8012 福島市御山町８番30号（福島県保健衛生合同庁舎４階）　TEL 024-563-1228　FAX 024-563-1234　E-mail：info@f-jusan.jp

## 会長あいさつ

福島県授産事業振興会
会長　三　浦　正　一

会員の皆様には日頃より当会の運営及び事業推進にご支援ご協力を賜り厚く感謝申し上げます。昨年は、会員の皆様が工賃向上に向けて真剣に取り組む姿が目立った年でもあったと思います。経営意識向上研修、工賃向上研修、HACCP 研修、焼菓子講習会など、日本セルプセンターと連携して企画した各種研修会等に積極的に参加され、また、自主製品の販売会でも、アンテナショップ「福祉の店」への出店、県外では日本橋や仙台駅での販売会、さらには毎年ご支援をいただいている福島銀行での販売会では最大規模の90を超える施設が出店されたなど、例年になく多くの施設が販売会に参加し販路の拡大に努めていただきました。また、当会では農福連携事業にも平成28年度から取り組み、年々事業を拡大しております。毎年、農福連携の勉強会を開催し、農業に取り組むことにより工賃向上に寄与することができるとの意見も出されております。

県が策定した「工賃向上支援事業」においても、農福連携による障がい者の就農促進事業を掲げ、働く障がい者の派遣、農業技術に係る指導・助言、６次産業化の推進を支援するための専門家派遣、マルシェの開催などの支援が計画されており、当会においてもプランに沿った事業を展開してまいりました。

さらなる工賃水準の底上げを図るために、研修会の開催、市場動向に即した商品開発と販路の拡大など、会員の皆様と連携して工賃向上に取り組んでまいりますので、一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

## 第24回通常総会の開催

平成30年５月30日（水）に、福島市民会館２階ホールにおいて、平成30年度（第24回）福島県授産事業振興会通常総会が開催されました。総会には、会員133名の内131名（委任状89名を含む）が出席し、菊地洋子副会長が司会を務め、村田純子副会長の開会のことばで進行しました。

はじめに、三浦正一会長より、障がい者の自立と社会参加を一層推進するため、県・関係機関・団体と緊密な連携を図り事業推進に努めて行く。と挨拶が述べられました。次に、来賓の遠藤智子福島県保健福祉部障がい福祉課長（県保健福祉部長代理）、熊川恵子福島県社会福祉協議会事務局長（県社協会長代理）から祝辞が述べられ、来賓紹介を行った後、小室雅幸氏（社会福祉法人福島縫製福祉センター）を議長に選出し議事が進められ、いずれも原案のとおり可決承認されました。

本総会の提出議案は次のとおりです。

議案第１号　福島県授産事業振興会補欠役員の選出について
議案第２号　平成29年度事業報告書の承認について
議案第３号　平成29年度一般会計収入支出決算書の承認について

議案第４号　平成29年度障害者就労支援事業所コーディネーター事業特別会計収入支出決算書の承認について
議案第５号　平成29年度農福連携支援事業特別会計収入支出決算書の承認について
議案第６号　平成30年度事業計画書(案)について
議案第７号　平成30年度一般会計収入支出予算書(案)について
議案第８号　平成30年度障害者就労支援事業所コーディネーター事業特別会計収入支出予算書(案)について
議案第９号　平成30年度農福連携支援事業特別会計収入支出予算書(案)について

会長挨拶

開会挨拶（村田副会長）

来賓祝辞（県障がい福祉課　遠藤課長）

来賓祝辞（県社協　熊川事務局長）

出席者の皆さん

※「第24回通常総会の開催」は、平成30年６月１日に当会ホームページの会員事業所へのお知らせ欄に掲載しております。

# 工賃向上支援事業

## ◆経営意識向上研修

工賃向上は施設運営にとっても利用者の生活の質を高める上でも実施していかなければならない課題です。研修では工賃向上につなげる生産性向上のヒント（視点）を獲得するため、「視点の持ち方３ム（ムリ・ムダ・ムラ）の理解」と「問題の捉え方と仕組みづくり」を学びました。

○期　日　１日目：平成30年10月25日(木)・２日目：11月１日(木)
○場　所　福島県農業総合センター（郡山市）
○参加者　21事業所・24名
○講　師　阿部　憲夫 氏
（経営士・IT コーディネーター）
齋藤　哲也 氏
（ファイナンシャルプランナー・相続カウンセラー）
（データアナリスト・マーケター）

講師　阿部 氏

講師　齋藤 氏

## ◆工賃向上のために「具体的に行動する」セミナー（日本セルプセンター共催）

今回の研修では、自分達の現状の棚卸しを実施したのち、事例問題を使って、事業計画の策定についてチャレンジし、それぞれの立場で考えられた他者の意見も取り入れられるように「グループディスカッション」も実施しました。

○期　日　１日目：平成30年８月９日(木)・２日目：８月10日(金)
○場　所　郡山市総合福祉センター（郡山市）
○参加者　26事業所・33名
○講　師　大泉　浩一 氏（㈱ネクストリソース代表取締役・中小企業診断士）

講師　大泉氏

参加者の皆さん

## ◆先進地視察

栃木県内で工賃が高い事業所の視察を行いました。

○期　日　平成30年10月30日(火)
○参加者　30事業所・51名
○視察先　ひびき（宇都宮市）　パン・焼菓子等の製造販売、施設外就労
　　ぴーち（さくら市）　児童発達支援事業、放課後等ディーサービス
　　桜　花（さくら市）　パン製造販売、軽作業、施設外就労

## ◆焼菓子講習会（日本セルプセンター共催）

事業所における焼菓子製造方法を検証し、より美味しい焼菓子の製造と売り上げの向上を目指し、焼菓子製造の技術を学びました。

○期　日　１日目：平成30年11月27日(火)
　　２日目：平成31年２月５日(火)
○場　所　阿部製粉本社工場（郡山市）
○参加者　12事業所・19名
○講　師　横溝　春雄 氏
　　(有)リリエンベルグ経営・
　　日本洋菓子協会連合会常任理事）

講師　横溝氏と講義風景

焼菓子完成

## ◆ HACCP（ハサップ）研修会

新食品衛生法が公布され、各事業所での適正な HACCP の理解と法施行後の速やかな行動を推進するため研修会を開催しました。

### ■会津圏域

○期　日　平成30年９月11日(火)
○場　所　道の駅あいづ湯川・会津坂下　会議室（湯川村）
○参加者　18事業所・25名
○講　師　阿部　雄一 氏（会津保健所生活衛生部）

■県南圏域

○期　日　平成30年９月13日（木）
○場　所　サンフレッシュ白河（白河市）
○参加者　12事業所・20名
○講　師　矢内　雄也　氏（県南保健所生活衛生部）

■県北圏域

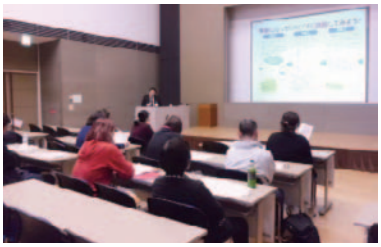
○期　日　平成30年９月19日（水）
○場　所　福島市民会館（福島市）
○参加者　21事業所・30名
○講　師　深谷　友香（県保健福祉部食品衛生課）

■県中圏域

○期　日　平成30年10月４日（木）
○場　所　郡山市総合福祉センター（郡山市）
○参加者　20事業所・27名
○講　師　伊藤　直人 氏（郡山市保健所生活衛生課）

■いわき圏域

○期　日　平成30年11月16日（金）
○場　所　福島市民会館（福島市）
○参加者　８事業所・12名
○講　師　鈴木　　博 氏（いわき市保健所食品衛生課）



■相双圏域

○期　日　平成31年３月12日（火）
○場　所　県相双保健福祉事務所
○参加者　５事業所・７名
○講　師　大越　英明 氏（県相双保健福祉事務所生活衛生部）

## 農福連携支援事業

農業の多様な担い手の確保や障がい者の新たな就労の場の創出につながるよう、福祉事業の農業への参入や農業者による障がい者雇用促進、福祉事業所における６次化製品開発・販路拡大など、農業と福祉の連携による工賃向上に取り組んでいます。

### ◆「農福連携勉強会」を開催

農林水産省政策研究所から吉田企画広報室長兼首席背策研究調整官を招き、「始めよう！農福連携、進めよう！農福連携」をテーマに基調講演をいただきました。

実践報告・ワークショップでは、実践報告をいただいた後に、ファシリテーターの進行によりワークショップを行いました。

○期　日　平成31年２月21日（木）
○場　所　福島県総合農業センター（郡山市）
○参加者　46事業所・80名

○講　師　基調講演：吉田　行郷 氏（農林水産省政策研究所）
行政説明：瀧田　克典 氏（県農林水産部）
ワークショップ
報告者：林　正剛 氏（NPO 法人ハブズ）
川田　勝也 氏（㈱ランドマーク）
助言者：吉田　行郷 氏（農林水産省政策研究所）
ファシリテーター：熊田　芳江 氏（こころん）

講師　吉田氏

報告者　林 氏

報告者　川田 氏

ファシリテーター　熊田 氏

勉強会参加者の皆さん

６次化製品等

## ◆農家への障がい者派遣

農家からの要請を受けて、施設利用者の皆さんが農作業を行いました。

落花生の播種作業

畝間耕運（除草）作業

エゴマ定植作業

エゴマ収穫作業

りんご摘果作業

りんご収穫作業

## ◆農福マルシェ

県内外においてマルシェ（市場）を開催しました。

福島沖縄まつり（郡山市）

voice 福島納涼祭（福島市）

# 展示即売会・アンテナショップ

## ◆県外での販売会開催

1　ナイスハートバザール in せんだい

○期　日
平成30年５月28日（月）
～31日（木）
○場　所
宮城県・仙台駅２階
○参加数　15事業所

2　平成30年度全国社会就労センター総合研究大会

○期　日
平成30年７月12日（木）
～13日（金）
○場　所
青森県・ホテル青森
○参加数　５事業所

3　埼玉県高齢・障害者ワークフェア

○期　日
平成30年９月14日（金）
○場　所
埼玉県・浦和駅東口駅前
○参加数　８事業所

4　国際福祉機器展

○期　日
平成30年10月10日（水）
～12日（金）
○場　所
東京都・東京ビッグサイト
○参加数　７事業所

5　第19回赤坂コミュニティまつり

○期　日
平成30年11月10日（土）
～11日（日）
○場　所
東京都・
赤坂コミュニティセンター
○参加数　９事業所

6　ふくしま大交流フェスタ2018

○期　日
平成30年12月９日（日）
○場　所
東京都・
東京ビッグサイト
○参加数　15事業所

7　まごころフェア

○期　日
平成31年２月16日（土）
～19日（火）
○場　所
東京都・
日本橋ふくしま館 MIDETTE
○参加数　20事業所

8　日立製作所買って社会貢献販売会

○期　日
平成31年２月20日（水）
○場　所
東京都・
池袋サンシャインシティー
○参加数　11事業所

9　ナイスハートバザール in せんだい

○期　日
平成31年２月25日（月）
～28日（木）
○場　所
宮城県・仙台駅２階
○参加数　19事業所

10　福島復興支援特別販売会

○期　日
平成31年３月４日（月）
○場　所
東京都・
NHK 放送センター
○参加数　８事業所

## ◆第７回福島銀行大展示即売会

12月14日（金）～16日（日）までの３日間、福島銀行本店大ホールにおいて大展示即売会を開催しました。昨年に引き続き復興応援コーナーを設け、宮城・岩手・愛媛の施設製品も販売しました。今年は県と県内３市町村のご協力をいただき、ゆるキャラ５体が即売会を盛り上げていただき、ご来店いただいたお客様と記念撮影するなど好評でした。

今年も12階の展望ラウンジを開放していただき、コーヒー・焼菓子・ジェラート・弁当を販売し、福島市内の眺望を楽しんでいただきました。

また、ステージイベントも盛り沢山で、施設の皆さんによる歌とダンス、ボランティアのすこっぷ三味線や地元出身のシンガーソングライターの菅野恵さんのミニコンサートもあり、大いに盛り上がりました。

大ホール

展望カフェ

スコップ三味線

キビタンとあたまがふくしまちゃん

しもごろう

イイタネちゃん

## ◆アンテナショップ「福祉の店」

昨年同様、福島市・郡山市・いわき市の３会場でそれぞれ２回開催、会津地方で１回開催しました。

| 場所 | | 開催日 | |
|---|---|---|---|
| | | １回目 | ２回目 |
| 福島市 | 中合福島店 | 30.８.23～28（６日間） | 30.10.18～23（６日間） |
| 郡山市 | イトーヨーカドー郡山店 | 30.６.８～18（11日間） | 31.１.18～28（11日間） |
| いわき市 | イオンいわき店 | 30.７.20～30（11日間） | 30.11.９～19（11日間） |
| 会津地方 | 道の駅ばんだい | 30.９.21～24（４日間） | |

福祉の店　福島

福祉の店　あいづ

福祉の店　郡山

# 授産施設新製品（商品）開発コンクール・授産施設関係職員等研修会

平成30年度授産施設新製品（商品）開発コンクール及び授産施設関係職員等研修会が、平成31年２月２日～３日の両日にわたり「ホテル華の湯」（郡山市熱海町）で開催されました。

## コンクールは、HANA、自立研修所ビーンズが金賞「農福連携特別賞」には、works-scs 笹谷

コンクールは、非食品の部に、15施設から30点、食品の部には、15施設から20点、全体では25施設から50点の応募がありました。

入賞製品は次のとおりです。

◆非食品の部

| | | |
|---|---|---|
| ■金　賞 | 本革ペンケース【HANA】 | 伊達市 |
| ■銀　賞 | 塩小法師・胡椒小法師【工房トマトハウス】 | 郡山市 |

◆食品の部

| | | |
|---|---|---|
| ■金　賞 | えごまサブレ【自立研修所ビーンズ】 | 南相馬市 |
| ■銀　賞 | ぎっしりトマト【大生リコピントマト農場】 | 福島市 |
| ■農福連携特別賞 | りんごジュース【works-scs 笹谷】 | 福島市 |

◆特別賞

| | | |
|---|---|---|
| ■福島民報社賞 | 生キャラメル【笹森の郷】 | 福島市 |
| ■福島民友新聞社賞 | にこにこまな板【ファームもみの木】 | 福島市 |

金賞「本革ペンケース」

金賞「えごまサブレ」

銀賞「塩小法師・胡椒小法師」

銀賞「ぎっしりトマト」

農福連携特別賞「りんごジュース」

福島民報社賞「生キャラメル」

福島民友新聞社賞「にこにこまな板」

## 研修会は、県内の施設・関係者143名が参加して開催されました。

１日目は、行政説明として、福島県保健福祉部障がい福祉課　主事　丹伊田加奈様から「工賃向上支援事業について」ご説明をいただきました。

引き続いて、POP センター福島　代表　川村洋一様から「自分づくり（元氣セミナー）」と題し、お話をいただきました。

２日目は、日本理化学工業株式会社　代表取締役社長　大山隆久様から「働く幸せ実現のために（社員から教わったこと）」を題とし、障がい者雇用する上で社員が取り組んだことなどのお話をいただきました。

引き続いて、日本セルプセンター　森田泰仁様から「障がい者の工賃向上を図るための証左研究事業（高工賃調査事業の開設講座）」を題とし、障がい福祉サービスにおける支援係長・障がい者指導員アンケートの調査結果についてのご説明をいただきました。

講師　丹伊田 氏

講師　川村 氏

講師　大山 氏

講師　森田 氏

参加者の皆さん

# 施設紹介

## 就労継続支援Ａ型事業所　福祉協会

福祉協会は平成30年３月に就労継続支援Ａ型事業所として開所いたしました。一般企業への就職が困難な方、徐々に力を付けて将来的に就職を目指している方への生産活動の場を提供し、職業技術はもちろん体調管理能力やコミュニケーション能力等の社会に必要な能力の向上へ向けて支援をしております。主な生産活動は、生活雑貨、服飾、家電、健康グッズ等の商品をネットサイトへの掲載、受注時の梱包から発送の業務。部品の組立て、加工、袋詰め等の内職業。その他施設外での就労などを行っております。

上記の活動を通して個性や長所を伸ばし、仲間と助け合いながら働ける職場です。もちろん仕事ですから、業務や人間関係などで躓き、辛いこともあるかもしれません。そんな時に職員や仲間のサポート、自身の経験などが役立つ時がきっとあります。一人ひとりが目標を持ってより良い生活を送れるように、事業所共々精進して参ります。

## 就労継続支援Ｂ型事業所　笑心　西中央

一般社団法人つくし「笑心　西中央」は、平成29年５月に開所しました。

「笑心」という名前は、ご利用者・ご家族・スタッフが“心から笑える”ようにという意味を込めて名付けました。就労移行支援事業所では､「長く働く力を身に付ける！」をコンセプトに、パソコン・ビジネスマナー・メンタルトレーニングなどの講義をはじめ、企業見学や実習などの就労に向けた本格的な訓練を行っております。Ｂ型事業所では、個々人のスキルとご希望に合わせて、パソコン作業や軽作業、在宅作業、施設外作業を行っております。特に、施設外作業は充実しており、グループ会社である『せいふうケア（高齢者デイサービス)』の施設にて、定期的な訪問販売、清掃・ゴミ出し・折込・ポスティングなどの実習を行っております。ご利用者様には、やりがいを持って作業に取り組める環境を提供させていただいており、今後、ますます盛り上がっていきます‼ご見学は随時受け付けております。お気軽にお問い合わせください。一緒に心から笑いましょう‼

## 就労継続支援Ｂ型事業所　わーくる矢吹

わーくる矢吹では、就労継続支援Ｂ型事業開始から３年が経過しました。各関係機関や行政との連携、共有を図りながら、サービスを必要としている利用者の方々のニーズに沿って柔軟な対応ができる就労支援事業所を目指して利用者の方々と共にやりがいや生きがいを感じながら楽しく安心して働ける施設づくり、生産活動を行っています。作業内容は、縫製班（ミシン・アイロン等の作業）、加工班（小袋詰め・配線組立・金具組立、ゴム部品切り出し等の作業）、お弁当班（調理・盛り付け等の作業）、清掃班に分かれて“平均工賃３万円”を目標に日々取り組んでいます。お弁当班の店舗“お弁当和来”は、平成28年７月より開始し、管理栄養士監修のもと衛生管理の徹底を行いながら、プロの職員も携わり毎月カロリー計算されたメニューを考え、一品一品真心を込めて『安心・安全、美味しい』手作りのお弁当を作成・配達しています。“和が輪を繋いでいく”をモットーに和来のお弁当を通じて地域の方とのコミュニケーションを図り、開かれた施設を目指し取り組んでいます。

近隣高校との取組みで農福連携を図り、種まきや収穫を一緒に行った野菜を使ってコラボ弁当なども作成しています。それらが利用者の方々のモチベーションにもつながり、意欲を持って作業に取り組んでいます。

今後も、「困ったときのわーくる」を強みにお客様からのご要望に沿ったお弁当、縫製品の作成と販売。そして、受託作業等、他施設と連携をとりながら時代にマッチングした風通しの良い施設になれるよう努力していきたいと思います。

## 地域活動支援センター　クリエイティブファクトリー

共同作業所クリエイティブファクトリーは上野寺にある地域活動支援センターです。自宅に閉じこもりがちになってしまい社会との係わりを持つ事が難しく、孤立してしまう障がい者の居場所や生き甲斐を見つけられる場所を作りたいと、2000年４月に身体に障がい者を持つ仲間が自ら立ち上げた作業所です。食育クラブ活動での調理実習や社会化見学ツアー・バリアフリー調査・季節のイベントをする事で社会生活に必要な素養を養い豊かな人間性や円滑な対人関係、人格の発展向上の為の支援を行っています。パソコン事業（版下、名刺印刷、年賀状印刷など）や、受託品のドライフルーツ・野菜スナック、スエード調ストラップ・天然石のアクセサリー、しめ縄など季節品の手工芸作品の制作をしています。地域イベントや市役所などの販売会に参加する事で地域の方々との繋がりを大切にし「障がいを持つ人も、持たない人も共に素敵に生活できる地域づくり」を目指しています。見学等気軽に遊びに来ませんか？

## 就労継続支援Ｂ型事業所　ほっとハウスやすらぎ

ほっとハウスやすらぎは、平成９年に会津地域で初めての精神障がい者の小規模作業所として開所後、平成20年に就労継続支援Ｂ型事業所へ移行し今年で22年目となります。

当事業所の大きな特色は、放課後等デイサービス事業と多機能型となっている事や、地域の小学校と教育課程に組み込まれた授業や交流活動を、永続的に21年間に亘り行っております。この活動は世界的にも例がない取り組みとして、国内外に於いて高く評価されております。また、メンバーひとり一人のリカバリーを大切にしたステップアップを図っており、作業内容も多岐に亘り、自分たちで選ぶことが出来るように工夫しております。

事業内容として、綜合病院内でのカフェや、売店、仕出し弁当、施設外就労、メール便、内職作業や、会津木綿を使った製品作りを行っております。中でも、仕出し弁当については180食～200食を、メンバーと職員が調理から配達まで心を併せて活動しており、多くの方に大変好評をいただいております。

その他、福島県の委託を受けた家族教室や、恒例のフェスティバル、地域の祭礼参加等、地域との繋がりを大切にした活動も積極的に行なっております。

今後も、それぞれが新しい自分を「創る」こと、今までとこれからを「繋ぐ」こと、心と心を「紡ぐ」ことを目指した、心のこもった質の高い支援で地域福祉に貢献できる施設を目指し一歩ずつ前進していきたいと思います。

フレンズコゥヒィ

稲刈り交流

ピクニック弁当

## 情報コーナー

◎31年度アンテナショップ「福祉の店」の開催日程（予定）

| | | | |
|---|---|---|---|
| • 郡 山 市 | イトーヨーカドー郡山店 | １期 | ６．７（金）～17（月）11日間 |
| | | ２期 | 32．２．15（土）～25（火）11日間 |
| • いわき市 | イオンいわき店 | １期 | ７．19（金）～29（月）11日間 |
| | | ２期 | 11．15（金）～25（月）11日間 |
| • 福島市 | 中合福島店 | １期 | ８．22（木）～27（火）６日間 |
| | | ２期 | 10．17（木）～22（火）６日間 |
| • 会津方部 | 道の駅「ばんだい」 | | ９．20（金）～23（月）４日間 |

※ 開催日程は会場の都合により、変更する場合があります。

## 編集後記

昭和の時代までは、通信手段は葉書や封書に頼ることが多かったが、平成になり通信手段がパソコンやＦＡＸに代わってきた。当会も会員事業所様等へのお知らせ手段としてメールを多用しているが、受け取る側がパソコンを開いていない又は内容を確認していないとなった場合、タイムリーな情報を受け取ることができないのではないでしょうか。１日に一度はメール等の確認をお願いしたいものです。

平成も終わり、これから通信手段はどのように変わっていくのか楽しみでもある。　事務局